

【今月の主な内容】

八女市の財政状況をお知らせします—	P2~5
八女市観光キャッチフレーズ「茶のくに八女・奥八女」	P6
5・6月八女市のイベント情報—	P7
岩戸山・鶴見山古墳出土品4点が国の重要文化財に	P9
八女寸寸語①「福島町は大都会」—	P10



本格的な茶摘みシーズンを前に4月15日(木)、八女中央大茶園で新茶祈願祭が行われました。当日、「お茶大好き」という八女津媛たち3人の女性が茶摘みを体験しました。今年は遅霜の被害により全体的に収穫期が遅れていますが、「引き締まった味の良いお茶ができる」と関係者。八女市では下記の「茶のくに八女・奥八女」をキャッチフレーズに、全国に向けて八女をPRしていきます(関連記事は6ページと19ページ)

茶のくに 八女・奥八女

2010(平成22年)
No. 947

5

八女市の財政状況を お知らせします

八女市では条例に基づき、毎年5月と11月に市の財政事情を公表しています。今回は22年度予算の内容と21年度予算の執行状況をお知らせします。
厳しい財政状況の中、やりくりしながら市民サービスの低下を招かないように努めていきます。



完成した八女市地域交流センター

平

成22年度は合併後初の
予算で、新市発足後も

厳しい財政事情が予想されるため合併による効果を最大限に生かし、できる限りの経費の節減に努めました。また、この予算の編成時期とほぼ同時期に、国の第2次補正予算が措置され、当初予算で計上を予定していた事業を、一部前倒しました。

本年度の一般会計予算総額は303億9600万円となりました。また、国民健康保険事業費などの特別会計の予算総額は177億1128万円となりました。水道事業会計予算総額は9億4097万円となりました。

市税の負担状況は

1人当たり 87,262円

1世帯当たり 259,251円

※平成22年度当初予算に占める市税(62億346万円)から国有資産等所在市町村交付金など(2,992万円)を除くと、61億7,354万円。平成22年3月31日現在の人口は70,747人、世帯数は23,813世帯です。

22年度特別会計予算額は

国民健康保険事業費	96億4,024万円
簡易水道事業費	2億1,355万円
住宅新築資金等貸付事業費	375万円
老人保健	1,446万円
下水道事業	11億7,363万円
介護保険事業費	54億5,184万円
後期高齢者医療	10億4,746万円
農業集落排水事業費	8,531万円
矢部診療所	5,767万円
串毛財産区	179万円
木屋財産区	1,295万円
大淵財産区	863万円
水道事業	9億4,097万円

財政用語解説

歳入	1年間に市に入るすべての収入
歳出	1年間で市が活用するすべての支出
一般会計	総務費・民生費・土木費・教育費など、市の基本的な行政運営に必要な経費を計上した合計
特別会計	特定の事業を行うため、一般会計と区別して処理する会計

歳入用語

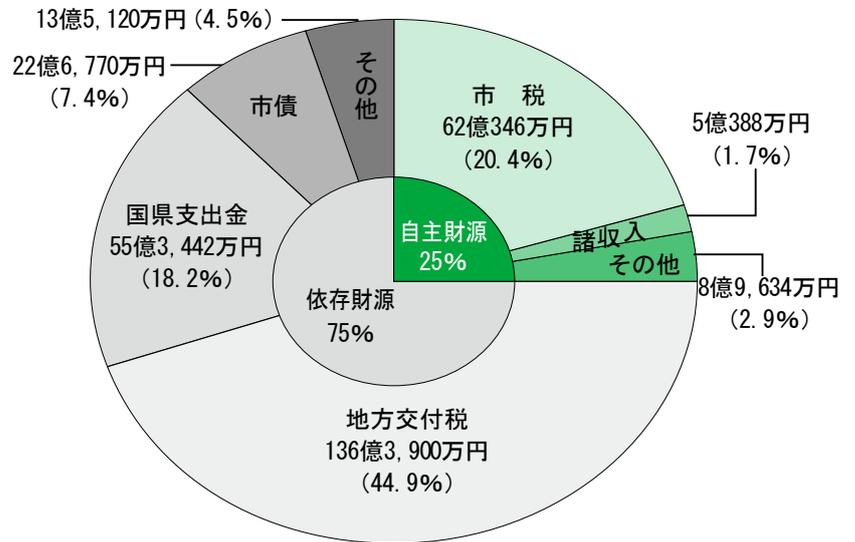
自主財源	市税や諸収入など、市が自力で集めるお金
依存財源	国や県の意思により、定められた額を交付されたり割り当てられたりして入るお金
市税	皆さんから市に納められるお金
地方交付税	所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて交付されるお金
国県支出金	事業など特定の目的の費用として、国・県から交付されるお金
市債	大きな事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金

歳出用語

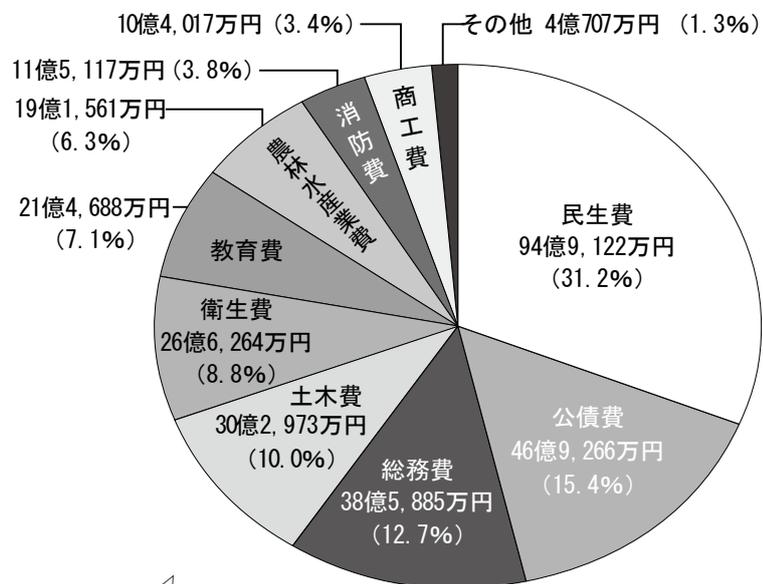
民生費	高齢者・身体しょうがい者・保育所などの福祉全般の事務事業に使うお金
衛生費	健康診断・予防接種・ごみ回収など、安全で衛生的な生活に使うお金
総務費	課税徴収・住民窓口・選挙・統計などの市の事務に使うお金
公債費	市債の返済のために使うお金
教育費	学校運営の費用や、文化会館・図書館・公民館など教育全般に使うお金
土木費	道路・公園整備・住宅管理などに使うお金
農林水産業費	農道整備・林業・農業振興など農業活性化に使うお金
消防費	消防活動・消防施設の整備などに使うお金
商工費	商工業の育成・観光事業の発展に使うお金
投資的経費	道路の建設など、社会資本の形成に向けられるお金
物件費	市が行う行政サービスの中で効果が短期間のものや、旅費・需用費・役務費などのような消費的性質のお金
扶助費	生活保護法・児童福祉法・老人福祉法などの法令により、被扶助者に支給するお金

平成22年度予算 一般会計予算は303億9,600万円

歳入 303億9,600万円の内訳



歳出 303億9,600万円の内訳



歳出を性質別にみると…

人件費	55億4,778万円	(18.3%)
物件費 (消費的経費)	39億4,027万円	(13.0%)
投資的経費	32億5,516万円	(10.7%)
扶助費・補助費等	93億7,534万円	(30.8%)
その他	82億7,745万円	(27.2%)

今年度の 主な事業

※1 八女市予約型乗合タクシー事業



生活交通を確保するため、昨年度に八女市と上陽町の一部で開始した予約型乗合タクシーを、新市全域に拡大して実証運行を行います。

HOTかれんな街づくり拡充事業 ※2

豊富な地域資源を有する新八女市《豊かで数多い宝物（資源）を「ほっとかれん」(Hotかれん)》を、広域連携して観光事業を推進することにより、新たな地域活性化に取り組みます。



※3 地域子育て支援センター事業業務委託料



子育て支援センター「ほほえみ」は、地域の子育てに関する相談指導や広報啓発、情報収集および提供などさまざまな事業を行っています。

小・中学校少人数指導教員支援事業 ※4

学習のねらいを効果的に達成するために、少人数の学習集団を形成し、個に応じたきめ細やかな指導を八女市全校で行います。



◎ 市民参画によるまちづくり

第4次八女市総合計画の策定業務	470万円
「(仮称)八女市まちづくり連絡協議会」の設立	91万円
市民との協働によるまちづくり提案事業	600万円
IT活用中山間地域活性化計画の策定	500万円

◎ 伝統と躍動にあふれた魅力あるまちづくり

定住自立圏共生ビジョンの策定	200万円
過疎地域自立促進計画の策定	250万円
八女市予約型乗合タクシー事業 ※1	3,880万円
道路・林道・河川新設改良・維持事業	15億8,929万円

◎ ゆとりと潤いにあふれた生活創造

八女市地域防災計画の策定および物資備蓄整備事業	900万円
バイオマス推進事業	175万円
浄化槽設置整備事業費補助金	9,915万円

◎ 躍動する地域経済の再生

HOTかれんな街づくり拡充事業 ※2	600万円
新八女市観光宣伝事業	810万円
観光モニターツアー業務委託事業	150万円
食料・農業・農村基本計画の策定	541万円
中山間地域等直接支払い制度事業費交付金	2億8,785万円
森林整備地域活動支援交付金	3億600万円

◎ 少子高齢化に対応し安心して暮らせるまちづくり

子ども手当	11億1,150万円
妊婦健康診査業務	5,290万円
地域子育て支援センター事業業務委託料 ※3	800万円
高齢者生きがい活動支援通所事業業務委託料	1,700万円

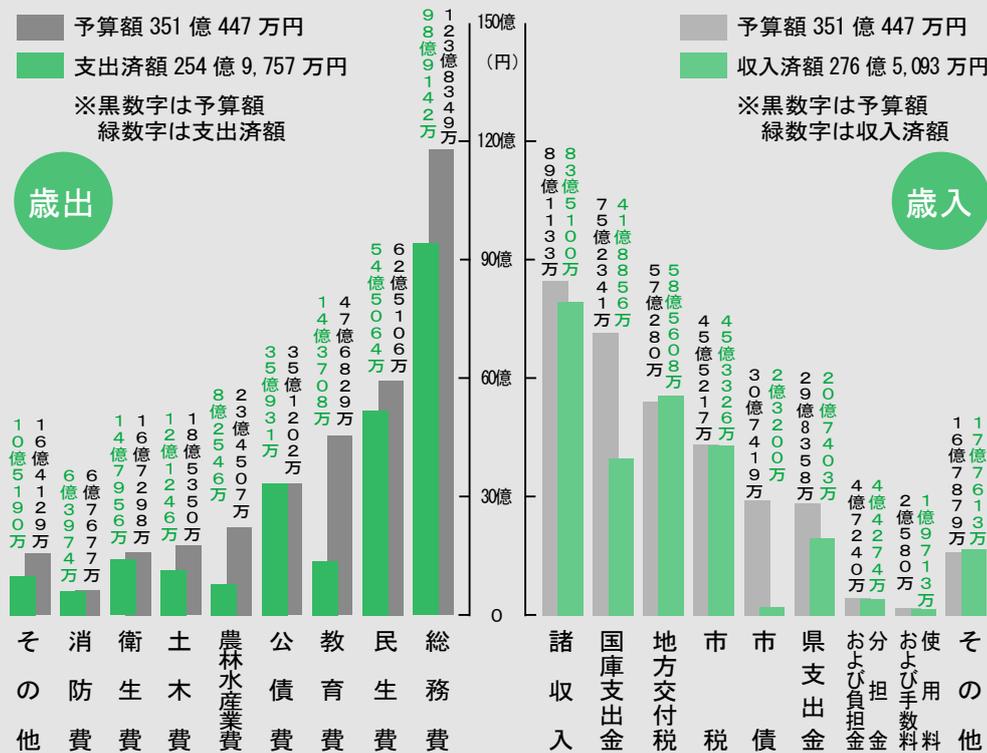
◎ 創造性豊かな人材を育てるまちづくり

市民意識調査業務委託料	400万円
「八女茶学」冊子制作・配布事業	120万円
小規模エリア教育推進事業	117万円
小・中学校少人数指導教員支援事業 ※4	3,444万円

◎ 地方分権時代にふさわしい新しい行財政運営の推進

第6次八女市行政改革大綱の策定	23万円
-----------------	------

平 成21年度の一般会計予算は、2町2村との合併に伴い、351億447万円となっております。そのうち3月31日現在では、276億5093万円（78・8%）を収入し、254億9757万円（72・6%）を支出しています。左のグラフは、平成21年度の予算総額を、歳入（入ってくるお金）歳出（出ていくお金）別に分けて、予算額と執行額（使ったお金）を表したものです。



平成21年度 予算の執行状況

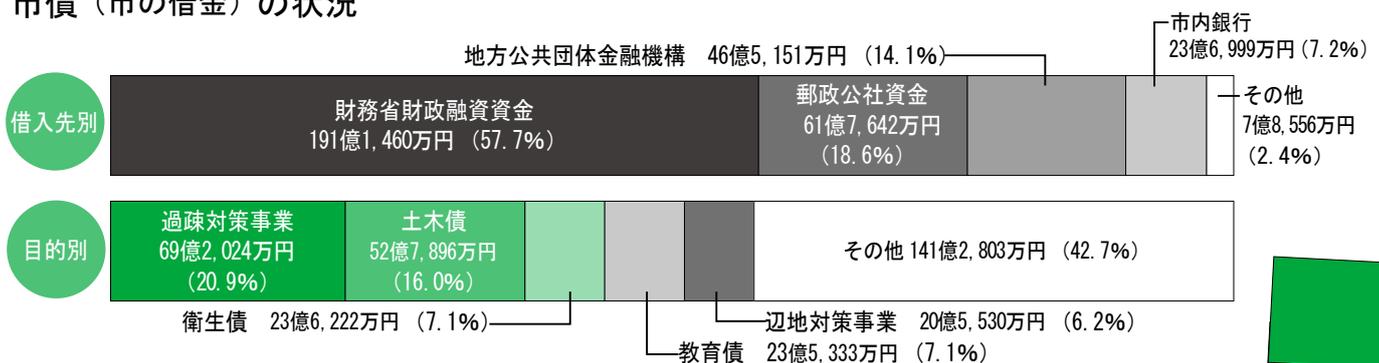
21年度特別会計

(単位：円)

区分	会計	国民健康保険事業	簡易水道事業	住宅新築資金等	老人保健	下水道事業	介護事業	除費
予 算 額	80億8,103万	2億1,285万	1億6,443万	4,163万	12億801万	29億2,531万		
収 入 済 額	56億6,394万	1億5,109万	1,546万	2,159万	8億9,925万	28億6,415万		
支 出 済 額	65億3,560万	1億494万	1億6,367万	2,292万	6億9,738万	26億1,193万		

区分	会計	後期高齢者療養	農業集落排水	矢部診療所	グリーンピア八女	串毛財産区	木産区	屋区	大淵財産区
予 算 額	6億8,431万	5,661万	1,659万	2,693万	150万	1,361万	902万		
収 入 済 額	5億4,259万	5,686万	585万	426万	182万	1,364万	1,021万		
支 出 済 額	5億5,343万	5,488万	644万	2,473万	0万	3万	0万		

市債（市の借金）の状況



市有財産

平成22年3月31日現在

区分	土地	建物
庁舎	65,846 m ²	27,717 m ²
学校	559,459 m ²	156,272 m ²
住宅	168,487 m ²	56,322 m ²
公園	245,005 m ²	808 m ²
その他	10,797,403 m ²	169,264 m ²
計	11,836,200 m ²	410,383 m ²
車両	293台	
基金	127億9126万円	

市債とは、学校を建築したり、道路をつくるなどの事業を行うために借りるお金のことです。市債の目的は、公共施設や道路などみんなで長期的に使う施設の負担を、将来の住民の皆さんにも公平に負担していただくということもあり、単発的に発生する多額の事業費を、長期間（数年から30年）かけて返済していきます。残額は3月31日現在で330億9808万円ですが、計画的な返済を行いながら健全財政を堅持していきます。上のグラフは、市債の状況を借入目的別および借入先別に表したものです。

市債（市の借金）の状況と市有財産

茶のくに 八女・奥八女

CHANOKUNI YAME OKUYAME



女市観光キャッチ
フレーズが決定!!

市では平成21年度に新八女市観光事業開発委員会（委員長・北嶋副市長）を設置し、合併後の観光事業の推進を目的に観光施策等の検討を重ねてきました。その過程で新八女市の観光キャッチフレーズを「茶のくに 八女・奥八女」と決定しました。「茶のくに 八女・奥八女」には次のような思いを込めています。



茶でつながるわた
したちのふるさと。

お茶は八女地方で古くから栽培されてきた新八女市を代表する農産物であり、市民の暮らし、文化、歴史、伝統の中に深く根づいています。このお茶を象徴として捉え、新市を「茶のくに」と表現しました。また、旧上陽町、黒木町、星野村、矢部村は地形的に奥八女という地域イメージがあるので、新市の地域を「八女・奥八女」と表現しました。内外へのキャッチフレーズの浸透を図り、お茶文化が持つ健やかさ、日本的な情緒、もてなしの心などを基調に、住み続けたいふるさとづくりと観光交流促進を今後推進していきます。



八女の女性八人による

「第1回茶のくに自慢
もてなし暖議」開催

市内の各地域で活躍している元気な女性たちが集まってもらい、「茶のくに」の暮らしやもてなしを語っていただきます。第1回は黒木で開催し、以後各地域での開催を予定しています。さて、どんな自慢話が飛び出すのか、八女の元気を感じてください。

- 開催日 5月22日（土）
- 会場 黒木地域交流センター「ふじの里」（☎42・3320）
- 出演 八女・上陽・立花・黒木・星野・矢部の元気な女性6人と茶のくに研究所女性1人
- コーディネーター 森千鶴子さん（森の新聞社）
- 問い合わせ 観光振興課（☎23・1192）

スケジュール

- 11:00
八女のひるごはん
（おばしゃんの漬物とごはん）
有料300円 先着150人
※黒木のおばちゃんたち自慢の漬物を集めました。
※炊き立てごはんと一緒にどうぞ。
- 12:45
太鼓演奏
- 13:00
茶のくに自慢もてなし暖議開始
- 15:00
終了

5/1^土 5^祝

奥八女上陽新茶まつり

新茶試飲即売会

- 日時 5月1日(土) 5日(祝) 10時～
- 場所 ぼたると石橋の館
- 茶摘体験 in 上陽

- 日時 5月2日(日) 10時集合 14時頃解散
- 集合場所 ぼたると石橋の館

- 参加料 大人2500円・子供1500円(昼食代含む)
- ※摘んだ茶葉は加工し、後日1000グラム平袋を郵送します。
- ※お子様にはソフトクリームをプレゼント!

釜炒り茶パフォーマンス

- 日時 5月4日(祝) 13時～
- 場所 ぼたると石橋の館

※見学無料

- 問い合わせ 特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡 ぼたると石橋の館 ☎54・2150・FAX54・2512
- E-mail 〓 info-hotaru@joyo-town.jp
- URL http://joyo-town.jp/yakata/

5/4^祝 5^祝

八女伝統工芸館 「新茶まつり」

- 期日 5月4日(祝)～5日(祝)
- 場所 八女伝統工芸館

- イベント 馬場姉妹コンサート「民謡と津軽三味線」(11時～)、八女津媛による新茶の無料進呈(先着150人)、新茶の試飲・販売、「玉露しずく茶」無料体験会、八女の地酒販売など
- ※多彩なイベントで皆さんのお越しをお待ちしています。

- 問い合わせ 八女伝統工芸館 ☎22・3131

5/8^土 8^土

八女市矢部村山系山開き

- 釈迦岳・御前岳・休鹿山・三国山
- 前門岳・文字岳・猿駆山・国見山

県下最高峰を誇る釈迦岳をはじめとする御前岳や前門岳などへの登山者の安全を祈願します。当日は、アトラクションや原生しているシヤクナゲが咲く山道を登山案内します。新緑の素晴らしい景色を体験してみませんか。



- 日時 5月8日(土) 9時30分～
- 場所 秘境峠(秘境)の里溪流公園中央広場

- 問い合わせ 秘境峠(秘境)の里溪流公園 ☎47・3000
- 矢部支所建設経済課 ☎47・3111
- ※天候により内容を変更する場合があります。

5/15^土 16^日

春の星座を探そうよ!

星座の中でも大きな星座トップ3のうみへび座・おとめ座・おおぐま座。そんな春の星座たちをスタッフが案内していきますよ。広場に寝転がって、春の夜空に広がる星座をみつけよう!

- 日時 5月15日(土)～16日(日) 20時～21時
- 場所 星の文化館
- 参加料 大人500円・小学生300円・幼児100円
- 宿泊 大人8500円(一泊二食付き)
- 問い合わせ 星の文化館 ☎52・3000

6/13^日

森林セラピー体験ツアー

水の恵みを感じよう!

春の息吹を感じながら森林セラピーとはどのようなものか

知ってもらいたいイベントです。約2キロの森林セラピーロードをゆっくりと歩きながら、「森の案内人」が五感を使って森の癒しの空間へと導いてくれます。水にちなんだイベントを用意して待っています。

- 日時 6月13日(日) (午前の部) 9時30分集合・10時開始 (午後の部) 13時集合・13時30分開始
- 場所 森林セラピー基地「くつろぎの森グリーンピア八女」
- 集合場所 グリーンピア八女体育館前イベント広場
- 定員 各20人
- 参加料 大人1000円・小人500円(記念品付き)
- ※森の癒し弁当は別途800円。
- ※子供用弁当は別途500円。
- ※飲み物などは準備してきてください。
- 申込方法 左記申込先へ電話にてお申し込みください。
- 募集締切 6月4日(金)
- 申込先 黒木総合支所産業経済課商工観光係 ☎42・1115・FAX42・0172
- ※小雨決行しますので、雨具などはご持参ください。
- ※参加料の一部は、当基地の森林環境保全に使われます。

5/10^月 7/30^金

九州お茶まつり福岡大会写真コンクール 募集

筑後市で九州お茶まつりが開催されます。イベント行事として、お茶に関する写真コンクールを行います。お茶を愛飲している人ならどなたでも応募できます。

- 募集期間 5月10日(月)～7月30日(金)
- 入賞点数 最優秀賞1点・賞金五万円、優秀賞2点・賞金3万円、入選5点・賞金1万円
- ※応募要領、応募用紙は市のホームページに掲載しています。
- 問い合わせ 農業振興課 ☎23・1118



八女市暴力団排除条例が施行

問い合わせ＝八女市役所生活安全課生活安全係（☎23・1731）

暴力団を排除するための施策・禁止事項の例 ※福岡県暴力団排除条例のパンフレットから



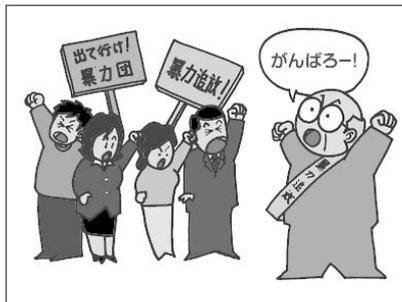
暴力団の威力を利用する目的で、暴力団員または暴力団が指定した者に対して金品その他の利益を供与してはなりません。



暴力団員もしくは暴力団（員）と密接な関係を有する者に公共工事の入札に参加させない等、市の公共事務・事業から排除します。



青少年が暴力団の被害に遭ったり組員にならないための教育が、中学・高校等で行われるよう、市が指導・支援すること。



暴力団を排除する重要性について理解を深めるため、市が集会の開催を支援するなど広報および啓発を行います。

福岡県暴力団排除条例の施行に合わせ、八女市でも暴力団排除条例が4月1日に施行されました。条例では、市民や事業者が暴力団を利用したり、暴力団の活動または運営に協力する目的での利益の供与を禁止しました。

また、市民等が暴力団に関する情報を知ったときは市または警察等へ情報を提供することや、暴力団との交際を厳に慎むことなどを規定しています。

次に、市では公共工事等については、暴力団員または暴力団員と密接な関係

のある者を入札に参加させないための措置を講じます。このほか、中学・高校等の青少年を対象に、必要に応じて暴力団犯罪の被害に遭わないための教育を行います。

さらに、福岡県暴力団排除条例に基づき、福岡県・県警本部・その他関係団体ともこれまで以上に密接に連携し、条例の趣旨徹底を図っていきます。

八女市が、これまでどおり平穏で安全な地域であり続けるために、市民の皆さんや事業所等のご理解とご協力をお願いいたします。

- ▽地震の備え三か条
 - ▽家具の転倒・落下防止
 - 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒や落下防止措置をしておく。
 - ▽火災発生時の防止対策

突然、大きな地震に襲われたとき私たちは適切な行動がとれるでしょうか。平成7年1月17日、多くの人々の大切な命と貴重な財産を奪った阪神・淡路大震災以降、国内では幾度となく地震が発生しました。

平成15年7月26日に発生した「宮城県北部を震源とする地震」では、家具類の転倒や落下物による負傷者が約5割を占めました。日ごろから家庭や職場で防災について話し合い、災害に備えましょう。

地震への備えは大丈夫ですか——八女消防本部

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。

▽非常用品の備え

- 両手が使えるリュックサックなどに、避難の時に必要なものをまとめて、目のつきやすい所に置いておく。



新消防団長を紹介します

4月1日付で八女市立花消防団長に樋川龍也さん（写真右）、八女市矢部消防団長に栗原・平さん（同左）が就任されました。

子どもと女性を性犯罪の被害から守ろう

八女警察署生活安全課（☎22・5110）

平成21年中の福岡県内での性犯罪（強姦、強制わいせつ）の認知件数は439件でした。そのうち八女警察署管内での認知件数は4件です。犯罪の起こる時間帯は、周囲の目が少ない夕方から深夜、明け方にかけてです。被害現場は、道路上、中高層住宅、駐車場などです。

▼防犯対策として、次のことに注意しましょう

- ・夜道の一人歩きを避ける
 - ・明るく人通りの多い道を選んで歩く
 - ・メールや音楽を聴きながら歩かない
 - ・自宅での戸締りをしっかりとする（マンションの高層階に住んでいても油断は禁物）
- ※子ども・女性安心安全ネットワークふくおかのホームページを開設しています。

愛称＝コスモスネットワーク
<http://www.cosmosnetwork.jp/>

岩戸山古墳・鶴見山古墳出土の石製品

4点が国の重要文化財に指定

問い合わせ 文化課 ☎23・198

岩戸山古墳から過去に出土していた石製品（通称「石人・石馬」）のうち、3点（石人1点、石靴1点、石盾1点）が追加指定されました。また、平成17年に豊福の鶴見山古墳から出土した武装石人1点が新規に指定され、合計4点の石製品が国の重要文化財に指定されました。



岩戸山歴史資料館のご案内
八女市吉田 ☎22・6111

●開館時間＝9時～17時●
休館日＝月曜日（祝日の場合はその翌日）●観覧料＝
一般130円（団体90円）、
小中学生70円（団体40円）
※団体は20人以上

豊富な古代八女の古墳文化

石

「人・石馬」とは、古代九州を代表する大豪族「筑紫君磐井」を中心とした「筑紫君一族」が取り入れた石製の表飾品であり、主に古墳やその被葬者を悪霊から守護する役目を持っていました。関西地方を中心として日本全国の古墳から出土する「埴輪」と異なり、阿蘇山の噴火による「溶結凝灰岩」と呼ばれる石から作られており、北部九州の古墳時代を代表する遺物として広く知られています（※八女の石灯ろうもこの石から作られています）。

これらの石製品は、国から「古墳からの出土品や古墳時代の遺物で、特に学術的価値が高い」と評価されたもので、今回の指定では福岡県内で5点が重要文化財に指定されました。

そのうち4点が八女市の古墳からの出土品となっており、この事は八女市の古墳出土資料が豊富である事を裏付けただけでなく、古代八女の古墳文化の水準が非常に高い、という事を示しています。

今回の指定を受けた石製品は、現在岩戸山歴史資料館にて展示中です。

追加指定3点（岩戸山古墳）



「石人」高さ154cm、幅83cm、厚さ18.5cm
美豆良（古代の髪型の1つ）を結び、背面には鞆（矢を入れる武具）を背負っています。江戸時代に岩戸山古墳の後円部上から出土した石製品です。



「石盾」高さ111cm、幅71.5cm、厚さ21cm
奈良県所在の「石見遺跡」出土の木製品に類似した形状で、「石見型盾形石製品」と呼ばれています。平成3年の台風の際、北東側の後円部から出土しました。

新規指定1点（鶴見山古墳）

「武装石人」高さ158cm、幅78cm



胃や短甲、草摺りを身に付けた武人を写實的に表現しています。両腕を広げる様は、まるで侵入者を拒む姿を彷彿とさせます。しかし、顔面や腕の両端部分に意図的に破壊された痕跡が残されており、この武装石人からは、鶴見山古墳の被葬者に対し並々ならぬ恨みがあった者がいた事が想像できます。



「石靴」高さ80.5cm、幅47cm、厚さ13.5cm
やや小型ですが、靴（矢を入れる武具）の形を完全に残しています。大正14年発行された福岡県の調査報告書に岩戸山古墳現存品として報告されています。

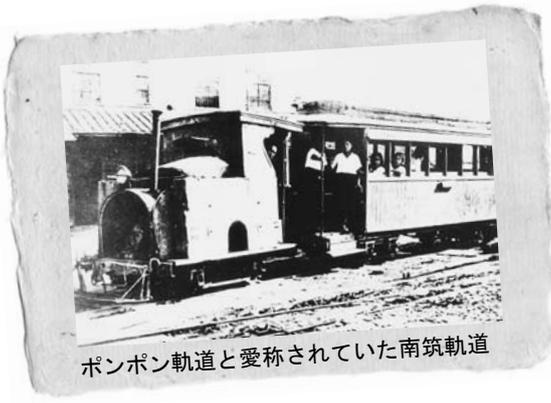
※「寸寸語」とは徳田秋声の随筆より拝借。「ちょっといい話」という意味です。
約1年間の予定で吉村誠さんによる「八女寸寸語」を奇数月にお届けします。

「福島町は大都会」

日本にたとえれば東京

平成の大合併で八女市が中心となり、黒木町・立花町・矢部村・星野村が合併して新八女市が出来ました。県内では北九州市に次ぐ二番目の面積を有する大きな市となりました。私の町だった黒木町は今まで八女郡と言ったりしましたが、八女市となり町民だったのが市民となり都人になりました。

大都会になった八女市の中心地は、やっぱり福島町ではないでしょうか。福島町と言えば、大正生まれの私たちには子ども頃から福島町が大変賑やかな町で大都会のように思われたものです。



(内容・原文のまま) 桜の名所八女郡福島町八女公園の桜も漸く満開にて園内には福島町各商店の寄る数々の雪洞をたて連ね餘興場を公開して花火大會その他の催しに大賑ひを呈してゐる

に乘って出かけなければなりません。初めて福島町に行った時のことです。停留所だった土橋附近の賑やかさには驚くばかりでした。南側の角にはチンチン電車と言った三井電車が久留米から来ておりました。電車も珍しかったものです。土橋の通りに入りますと、これまた大変な通りで驚くばかりでした。更に驚いたのは、劇場があったことです。劇場では屋でも活動写真(映画)が見られると言ったことでした。活動写真と言えば、私たちの町では夜でないと見られませんので、活動写真は夜に見るものとはかき思っていました。土橋の劇場では昼でも活動写真が見られると聞いて、福島町は大都会だと思つたものです。劇場がもう一つ、京町に京座があったことは、後で知りました。大正から昭和になつた頃は、福島町の八女公園の桜が有名でした。私たちは小学校の頃に先生に引率されて軌道に乗って桜見に八女公園に出かけたこともあり、ポンプン提灯がたくさん下がって、公園の桜がきれいだったことと大変な人出にはビックリしました。桜もきれいだつたが人の多いことには、田舎者の私たちに驚くことばかりでした。当時の新聞記事に、八女公園の桜の見頃を報じたのが私の手許に残っております(写真参照)。その頃は、八女公園が最高の桜の名所ではなかったでしょうか。八女公園には招魂社もあって、桜の季節には大祭が行われていたことも思い出します。広い公園でしたので、いろいろな催し物も行われていました。有名な木下サーカ

福島町見分録
さて、福島町に行くことになればその頃はポンプン軌道と愛称されていた南筑軌道

明治三十二年(一八九九)の頃、八女郡長だった田中慶介と言つた人が「八女郡是」を編さんしております。その郡是の説明文中で福島町を次の様に述べています。「福島町ノ如キハ是ヲ日本ニ警フレハ東京デアル」と、八女の中心地である福島町を説明しています。確かに私たちが子どもの頃は福島町は東京のように思われたものです。福島町に出かけることは夢にもないことでしたから、一度行つてみたいと憧れたものです。

スが最初に興行したのが、昭和の初め頃ではなかったでしょうか。田舎者の私たちは珍しいサーカス見物に、ポンプン軌道に乗つてわざわざ八女公園まで見物に行つたものです。福島町ではもう一つ賑わいがありました。八幡さんの放生会です。燈籠人形が囃子に操られて踊るのが珍しいものでした。八幡さんの境内の夜見世の多いこと、迷子になろうとしたので大変な目にあつたことを思い出します。子どもころ、福島町が大都会に見えたのも、当たり前前のことではなかったでしょうか。

・ 作者紹介
吉村 誠さん
大正10年黒木町生まれ。黒木町文化連盟会長、町史編さん実務委員、町文化財専門委員会会長など歴任。平成4年から黒木町「学びの館」管理人。文化・歴史の語り部として活躍中。

福島町こそ八女地方では明治以来大都会に相違ありません。郡役所があり、裁判所・警察署・八女公会堂などが立ち並び大都会に見えたのも当然だったかも知れません。戦後には昭和の合併で隣接村と合併した福島町が八女市となり、周辺が発展して都会のようになりました。平成の大合併でまた八女市が大きくなりました。これからどんどん発展して大都会になることでしょうか。大きな夢を抱いて、次代の市民の若い人たちの活躍を期待しますバイ。



端午の節句

5月の町家交流館の催し

節句飾りと幟旗展

端午の節句が、男児の立身出世を願う意味を持つようになったのは江戸時代初期。戦場への覚悟を新たにすため、甲冑を飾った元禄期の習わしが、その起源といえます。また、旧暦の5月は、食物が痛みやすいため、殺菌効果のある菖蒲を部屋に置く習慣がありました。一説ではこの菖蒲に、「武事を重んじる「尚武」という言葉をかけ、男児

の節句としたともいいます。今回、交流館企画展では、節句の外飾り・内飾りを展示いたします。男児の健康を気づかう親心をご覧ください。期間 4月27日(火)～5月30日(日)10時～17時(入館無料・無休) 会場 横町町家交流館(本町94番地) 問い合わせ 同館(☎23・4311)

H22年4月5日付 新教育長に西島民生氏



4月5日に開かれた教育委員会で新しい教育長に西島民生氏(立花町)が選任されました。西島氏は南筑後教育事務所管内の中学校に勤務後、南筑後教育事務所副所長に。平成18年4月から22年1月まで、立花町教育長として小中学校の学力向上と豊かな人間形成に力を注がれてきました。昭和23年2月生まれ、62歳。

H22年4月2日付 中島清志教育長が退任



中島清志教育長の退任式が4月2日(金)の終業後、市役所ロビーで行われました。中島氏は平成14年4月から2期8年間教育長を務められ、八女市の学校教育、社会教育等に尽力いただきました。「教育行政改革に努力いただき、感謝致します」と三田村市長があいさつ。職員から拍手で見送られました。

キリトリセン

郵便はがき

8 3 4 8 7 9 0

料金受取人払
八女支店
承認
102

差出有効期限
平成23年5月
30日まで

(切手不用)

〈受取人〉

八女市本町647番地

八女市長 行



8 3 4 8 7 9 0

7

ご住所	
(フリガナ) お名前	掲載時 (氏名掲載可・匿名希望)
年齢	歳 (性別) 男・女
	☎

※紙上匿名を希望する人も、上の欄を必ずご記入ください。
(八女市広報 H22.5)

キリトリセン

ふるさと支援寄附のお礼(敬称略)
・その他市長が必要と認める特定の事業へ
▽松岡 満雄 (久留米市)
3月末現在累計額 673万4867円
平成19年度から21年度までの寄附金は「八女市ふるさと支援寄附基金」として積み立ててきましたが、平成22年度ではこの基金の一部を次の事業に財源として有効に活用させていただきます。
▽少子化対策として保育の充実を図る事業
へ 1122万3千円
▽茶の振興について中学生から学ぶ「八女茶学」冊子制作配布事業へ 1100万円
▽市民との協働によるまちづくり提案事業
へ 1107万7千円
※ふるさと支援寄付金とは……1口5千円

として積み立て、次の事業に使用します。
①地場産品発掘・ブランド化事業 ②未来を担う子どもの教育及び少子化対策事業 ③観光振興・交流事業 ④環境保全事業 ⑤その他
▽問い合わせ 行財政改革推進課行政経営係 (☎23・1346)
寄附のお礼(敬称略)
・岡山小学校へ
▽中村 満 (久留米市) 11長机20台
▽岡山小学校父母教師会 (リサイクルバザー) 11児童図書162冊
・八幡小学校へ
▽川口葵衣 (蒲原) 11児童図書15冊
・市内各小学校へ
▽JAふくおか八女 11図書カード

市民の 声 voice

皆さんからの写真、イラスト、詩、俳句、
身辺雑記、市へのご意見や質問などの
投稿をお待ちしています。



▶モン
ンなん
モきく
ケ好ま
が大
がそ
届き
ま
し
た

八女紫苑の会

朝日子を髪に纏ひて山笑ふ
朝日子(あさひこ)を髪(かみ)に纏(まと)ひて山笑(やまわら)ぶ
強東風に髪(かみ)の乱れとなりけり
強東風(かぜ)に髪(かみ)の乱(みだ)れとなりけり
女神像桜吹雪を被りけり
女神像(めがねぞう)桜吹雪(はなぶら)を被(か)りけり
花万葉俳聖の碑を隠しけり
花万葉(はなまんが)俳聖(はいせい)の碑(ひ)を隠(かく)しけり
田一面煙るがごとく齋咲く
田(た)一面(いちめん)煙(けむ)るがごとく齋(さい)咲(さ)く
夫の打つ碁石の音や春障子
夫(うさ)の打(う)つ碁石(ごいし)の音(ね)や春障子(はるしょうじ)

井上トシ子
中川原篤子
松延みさと
堤 多鶴子
松崎・伸子
牛島 景子

青少年チャレンジウオークの 参加希望者は抽選で

長男が学校から「青少年チャレンジウ
オーク」の案内をいただきました。親
子で気に入る、早速市役所へ申し込み
行ったら「すでに定員になりました」との
こと。こんなに早く定員になるほど好評で
あるなら、締切まで待つて受け付けてい
だいて抽選で参加者を決定するか、または
同時期に2・3回と開催し、できるだけ
くさんの小中高生が体験できるようにし
てほしいと希望します。

(40歳代・女性)

申し込みを受け付けできなかったことを
お詫びします。この行事は例年申し込み
は非常に多く、受付開始後すぐに定員に
達します。各小中学校には、一斉に申し込
み用紙を配布するようお願いしていました。
複数回の開催については予算や日程の都合
で困難ですが、抽選での参加者決定につ
いては来年度の実行委員会に諮りたいと考
えています。

(男女共同参画・生涯学習課)

予防接種は黒木の「ふじの里」 でも実施してください

先日、八女市になって初めて子ども
ポリオ接種に行きました。八女市保健セ
ンターはいつぱいの子連れで、中に入ると
何だか…という感じでした。あれが冬のイ
ンフルエンザ流行時期だったらと考えると

(八女市広報H 22.5)

あなたの声を届けてください！

皆さんが日ごろ八女市に対して思っていることを、市長に
届けてください。
意見・提案・苦言・提言、どんなことでも結構です。将来
の八女市づくりのため問題点は改善し、建設的な内容につ
いては実現に向けて努力してまいります。

キリトリセン

写真やイラスト・絵画・短歌・俳句など、何でも結構です。

●市長室直通ファックスも無料でご利用いただけます。
0120・24・4554 (フリーダイヤル)
問い合わせ=市長公室秘書広報係 (☎23・1110)

ぞっとします。また、遠方の山奥からも来
られると思うので、せめて元の八女市と八
女東部に分けて、黒木の「ふじの里」で行っ
ていただくといいのではと思います。

(20歳代・女性)

「ご指摘のポリオ投与は3月11日の会場
のことかと推察します。合併後慣れない
中、遠方からおいでいただいたにも関わら
ず、大勢の来場者で大変ご迷惑をおかけし
ました。4月以降は八女市保健センターで
毎月1回の実施のほかに、合併後の東部地
区の皆さんの利便性に配慮して、黒木地域
交流センター「ふじの里」でも4月と10月
に実施します。日程など詳細については広
報やめに掲載しますので、ご確認いただき
ますようお願いいたします。

(健康課)

◎あなたの声をお待ちしています

市政に対するご意見や苦情、素朴な
疑問など、あなたの「声」をお待ちして
います。はがきやファックスなどを利用
して、お寄せください。「市長へのはがき」
は紙面で紹介させていただく場合があります。
また、市長や担当課などから直接
ご本人へ回答もしていますので、住所・
氏名・電話番号等の記入をお願いします。

◎八女市総合オンブズパーソン

あなたの申し出により、あなたに代わっ
て市政に対する苦情を簡易迅速に処理
し、市の仕事に不備な点や制度に問題が
あるときは、市の機関に是正や改善を求
める意見表明などを行います。

●手続き・問い合わせ|オンブズパーソン
事務局 (総務課内 ☎23・1111)

ウイーンの貴婦人とたとえられた。ピアノ・ベーゼンドルファー。この名器を八女市の新しいホールに寄贈し、毎年「八女ベーゼンドルファー音楽祭」開催を仲間と企画している調さん。お寺の住職の傍ら、これまで市民劇場の実行委員長をしたり、お寺でジャズライブやピアノリサイタルを企画したりと文化のすそ野を広げてきました。「お寺は仏事の場だけではなく、本来は地域の公民館であり、文化の発信地であり、教育の場でもありました。蓮如さんも能や狂言など当時の新しい文化を積極的に取り入れ、本願寺から発信されていたんです」

5年前に市内の文化団体、まちづくり団体等と横のつながりを作ろうと、「八女文化創造ネットワーク会議」を立ち上げました。そして今回、同会議を母体とした「八女ベーゼンドルファー音楽祭プロジェクト」を企画。個人会員(年

ここに残る音楽を
八女のまちに広げる

八女ベーゼンドルファー音楽祭を企画する



「今年と来年は、生の音楽を聴く楽しみをPRしていきたい。5月14・15日のコンサートには、多くの方に来ていただきたいです」

調 紀さん (西宮野町)

額1万円)、法人会員(同2万円)で協力者を募り、NPO法人を設立し、ピアノ購入資金や音楽祭開催を予定しています。

「呼びかけのチラシを見て、指揮者の大山平一郎氏(米国・サンタバーバラ室内管弦楽団音楽監督)から『ぜひ応援したい』との連絡がありました。この音楽祭は、質のよい音楽を地域の人々に聴いていただく目的とともに、意欲ある若手音楽家等の登竜門になればと思っています。八女市は合併により豊かな自然、人とのつながりなど魅力も広がりました。さらにこの環境の中で、外の人々との交わりを深め、観光とともに音楽祭を楽しんでもらえたらいいですね」

八女ベーゼンドルファー音楽祭プレコンサート

5月14日(金)19時〜アイ・ラブ・ジャズ

5月15日(土)15時〜ヒビ・イタリ

ア(オペラ・アリアの名曲) 場所

八女文化会館 料金 それぞれ2千円

問事務局・調さん(☎24・3829)

5月

図書館の休館日

《本館の休館日》※月曜、最終金曜日
10(月)、17(月)、24(月)、31(月)
28(金)*は館内整理日のため休館

《上陽、立花、矢部、星野分館の休館日》
※月曜及び祝・休日、最終金曜日
3(祝)、4(祝)、5(祝)、10(月)、17(月)、24(月)、28(金)、31(月)

《黒木分館の休館日》
※火曜及び祝・休日、最終金曜日
3(祝)、4(祝)、5(祝)、11(火)、18(火)、25(火)、28(金)

5月の図書館だより

八女市立図書館(本館) ☎22・2504

※本館の開館時間=平日10時~20時

土日祝10時~18時

上陽分館 ☎54・3131

矢部分館 ☎47・2258

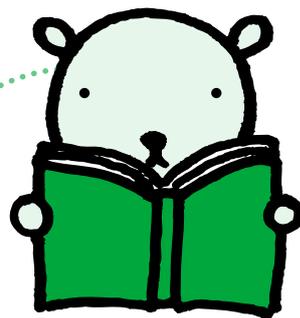
黒木分館 ☎42・0400

星野分館 ☎52・3707

立花分館 ☎37・1522

※分館の開館時間=9時~17時30分

ホームページ www.library.yame.fukuoka.jp



5月のよみきかせ

絵本や紙芝居など親子でお楽しみください。

●本館 <日時>1日、8日、15日、22日、29日

※いずれも土曜日14時~<場所>おはなしコーナー

●黒木分館

<日時>8日(土)11時~11時30分
<場所>おはなしコーナー

5月のあかちゃんよみきかせ

0歳~2歳児を対象によみきかせやらべうたなどをします。

●本館

<日時>19日(水)11時~
<場所>おはなしコーナー

●黒木分館

<日時>27日(木)11時~11時30分
<場所>おはなしコーナー

分館紹介

八女市立図書館
黒木分館

~わたしの居場所
私の図書館~



黒木分館は昨年9月にリニューアルしたばかりの木の香ただよう図書館です。中学校生向けの本を集めたティーンズルームや親子でゆっくりとした時間を過ごせる絵本のコーナー

ナ、郷土資料コーナーなどがあり、デッキでは矢部川河畔の四季折々の景色を楽しみながら読書することもできます。また、6年目を迎えた移動図書館「ゆめみらい号」は、1300冊の本を積んで黒木町内53か所のステーションを巡回しています。今後も本館や分館の連携を図りながら、図書館を訪れる人にとって、学び・集い・憩い・癒される図書館でありたいと思います。

図書館運営方針

豊かなまちづくりに役立つ最新の情報を発信し、人にやさしい図書館、親しみやすく利用しやすい図書館を目指します。

職員一同頑張りますので、よろしくお願いします。

4月から本館土・日・祝日の開館時間変更のお知らせ

平成22年4月から、土日祝日の本館の開館時間が変わっています。

★土日祝日

<変更後>10時~18時

※1月・2月・8月は10時~20時

※平日の開館時間(10時~20時)は変更ありません。

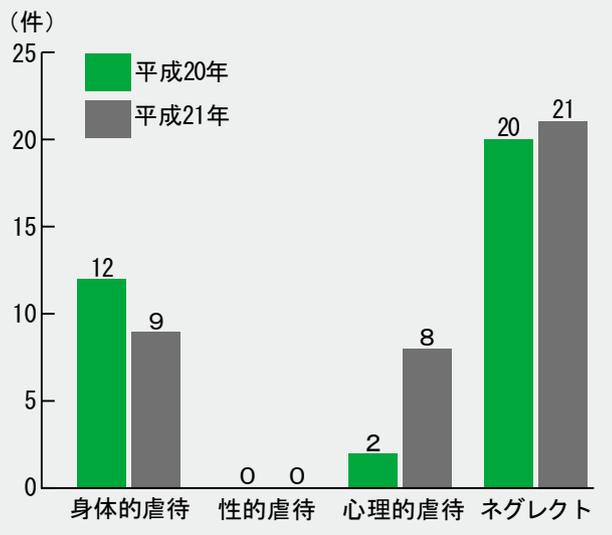


子どもの人権問題 児童虐待の実態

八女市では・・・

5月5日は子どもの日
五月晴れの空に、鯉のぼりが風におよぐさまを見ると
誰もが心踊るものですね
「銀（しろがね）も 金（こがね）も 玉も 何せむに まさる宝 子にしかめやも」（万葉集 上 憶良）
子育て支援ということばが、国をあげて叫ばれている今日でもあります
しかし、その一方では、児童虐待などの暗いニュースをよく聞きます
わたしたちの八女市ではどうでしょうか？ 身近な問題として考えてみましょう

▼八女市の児童虐待相談件数



このネグレクトにも変化が見られ、20年度では、保護者自身がなんらかの理由で育児ができない、例えば

- ネグレクト
育児放棄。食事を与えない、病気やケガをしても病院などに連れていかない、家に閉じ込めるなど（高齢者の介護放棄でも使われます）
- 身体的虐待
なぐる、ける、おぼれさせる、異物を飲ませる、戸外に締め出すなど
- 心理的虐待
ことばによるおどし、脅迫、無視、きょうだい間の差別的な扱いなど

八女市（旧）の児童虐待の実態（平成20年度・21年度）
グラフは、過去2年間に八女市家庭児童相談室に相談があった件数です。

ば育児ノイローゼなどの消極的ネグレクトが多かったのですが、21年度は、自分が楽しんだ方がいいなどの積極的ネグレクトともいえる親自身の勝手なわがままで育児を放棄する人が増えています。
身体的虐待では、9件とも小学生以下の幼児が被害に遭っています。また、心理的虐待は、8件の内4件が小学校低学年で「おまえなんか生まなければよかった」という言葉による暴力などが挙げられています。性的虐待は本年度も八女市では0件でした。
しかし、これらの数字は氷山の一角かもしれないかもしれません。まだ誰にも言えず苦しんでいる子どもたちがいるのではないのでしょうか。

小さなサインを見逃さないで

虐待の背景にあるものは、子どもを自分の所有物として考える親の存在や、孤立した子育てによるストレスなどが原因となって起こっていると言われていきます。虐待を未然に防ぐには、子どもたちはもちろん親側のサインも見逃してはいけません。子育ての不安や悩みを誰にも相談できずに親自身も苦しんでいるのも事実です。地域で子どもやその親を見守り、関係機関と連携をとりながら支援していきましょう。
私たちに、児童虐待予防法の定めにより子どもとの異変を見つけ、虐待ではないかと思われる場合は、市町村、児童相談所などに通報する義務があります。相談内容の秘密は守られます。小さなサインを通報することは子どもの人権を守ることに繋がります。

虐待に関する相談窓口

久留米市児童相談所（☎0942・32・4458）
八女市子育て支援課（☎23・1351）
八女市家庭児童相談室（☎23・1448）

後期高齢者医療
制度に加入して
いる皆さんへ

22・23年度の
保険料について
お知らせします

後期高齢者医療被
保険者証（保険証）
が更新されます

現在の保険証の有効期限は平
成22年7月31日までです。8
月1日から使える新しい保険
証は、7月下旬に郵送します。

〈問い合わせ〉

- ・市民課公費医療係
（☎23・1117）
- ・黒木総合支所
（☎42・1463）
- ・立花支所
（☎23・4932）
- ・上陽支所
（☎54・2218）
- ・矢部支所
（☎47・3111）
- ・星野支所
（☎52・3113）

保険料の改正について

後期高齢者医療制度の保険料率は2年に一度改正することとされており、制度開始以来、初めての保険料率の改正を行いました。その結果、平成22年度および平成23年度の所得割率と均等割額は次のとおりとなります。

保険料額の算出方法

保険料は被保険者ごとに計算されます。被保険者全員が等しく負担する「均等割額」と、被保険者の総所得金額等（※注）に応じて負担する「所得割額」との合計額が保険料となります。

▼後期高齢者保険料の所得割率と均等割額

	H22・23年度	H20・21年度	増減
均等割額	52,213円	50,935円	1,278円増
所得割率	9.87%	9.24%	0.63ポイント増
賦課限度額	50万円	50万円	増減なし

$$\text{保険料額 (年額)} = \text{均等割額 } 52,213 \text{ 円} + \text{所得割額 [総所得金額等-33万円]} \times 9.87\% \text{ (所得割率)}$$

※「総所得金額等」とは、前年中の「公的年金等収入－公的年金等控除」「給与収入－給与所得控除」「事業収入－必要経費」等の合計額で、各種所得控除前の金額です。

平成22年度の保険料軽減措置

世帯（注1）の所得の状況等に応じて、保険料の軽減措置が行われます。軽減の内容は以下のとおりです。

▼均等割額の軽減額

均等割額軽減割合	軽減後の均等割額（年額）	同一世帯内の被保険者および世帯主の軽減対象所得金額の合計額（※注3）
9割軽減	5,221円	33万円（基礎控除額）以下で、被保険者全員が年金収入80万円以下で、その他の所得がないこと
8.5割軽減（※注2）	7,831円	33万円（基礎控除額）以下
5割軽減	26,106円	33万円（基礎控除額）＋24万5千円×被保険者（世帯主を除く）の数以下
2割軽減	41,770円	33万円（基礎控除額）＋35万円×被保険者の数以下

※注1＝「世帯」とは、4月1日時点の世帯（年度途中で75歳になる人、県外から転入された人等はその時点）が基準となります。

※注2＝原則は「7割軽減」ですが、平成22年度も特別措置により「8.5割軽減」に拡充されます。

※注3＝「軽減対象所得金額」とは基本的には総所得金額等と同じですが、公的年金等収入の場合、「公的年金等収入－公的年金等控除－15万円」となるなど例外があります。

▼所得割の軽減

5割軽減	総所得金額等から基礎控除額（33万円）を引いた額が58万円以下の人（公的年金収入のみの場合、211万円以下の人）
------	--

▼後期高齢者医療制度に加入する前日までに、被用者保険（国民健康保険・国民健康保険組合は該当しません）の被扶養者であった人の保険料の特例

均等割額が9割軽減されます（所得割額はかかりません）

※保険料の詳細は、7月に送付予定の「平成22年度後期高齢者医療保険料額決定通知書」に記載しますので、ご確認ください。

愛樹の心を矢部村から世界へ 第19回世界子ども愛樹祭コンクール授賞式

世界子ども愛樹祭コンクール授賞式が、矢部村の矢部多目的交流ホールで3月28日(日)に行われました。このコンクールは、環境保護をテーマに児童・生徒などの作文や絵画などを募集するもので、NPO法人世界子ども愛樹祭コンクール・コスモネットの主催で今回で19回目を迎えました。

「詩・作文」、「絵画」、「木はがき」の3部門に、海外6か国を含む計1887点もの作品が寄せられました。作品は、黒木町出身の画家吉田民尚さんや漫画家の矢口高雄さんらが審査。86点の入賞作品が選ばれました。市内の入賞者は次のとおり。

(敬称略)

。詩・作文の部

選考委員特別賞

北島 愛 (矢部中3年)

西日本新聞社賞

倉ノ下萌香(黒木西小3年)

原島悠奈 (矢部中3年)

読売新聞西部本社賞

栗原誠也 (矢部小2年)

毎日新聞社賞

原島花歩 (矢部小2年)

教育新聞社賞

原嶋真子 (矢部中3年)

FBS福岡放送賞

江田千晃 (矢部中2年)

九州朝日放送賞

堤久美子 (黒木西小3年)

RKB毎日放送賞

木田陽菜 (矢部小2年)

さくら賞

新原涼平 (矢部中3年)

環境教育奨励賞

八女市立矢部中学校

。絵画の部

森の大賞

橋山美幸 (川崎小4年)

選考委員特別賞

川島元渡 (川崎小4年)

栗原光葉(矢部保育園・4歳)

轟 逸平 (矢部小2年)

環境教育奨励賞

広川町立上広川小学校

。木はがきの部

森の大賞

木田陽菜 (矢部小2年)

みどりの賞

栗原郁也 (矢部小1年)

しゃくなげ賞

石橋憲人 (矢部小5年)

さくら賞

原島理花 (矢部小4年)

仁田原匠貴

(矢部保育園・5歳)

高山莉帆 (矢部小1年)

環境教育奨励賞

八女市立矢部小学校



飾られた入賞作品

「花わさび」の収穫・加工体験を開催



林の間に植えられた葉わさびを収穫しました

矢部村葉わさび研究会では、3月21日(日)に「花わさび収穫・加工体験交流会」を行いました。遠方は、神奈川県から総勢46人の参加者がありました。参加者は、初めに林間の生産現場で、花わさびの収穫をしました。花(葉)わさびを初めて見たという参加者は、「沢の水の中で栽培されていると思っていましたが、林の中で栽培されていたのでびっくりした」と驚いた様子でした。その後、収穫した花わさびを使って、「花わさび漬」の加工体験をしました。矢部村では、今後も、葉わさびの生産の拡大はもとより、都市部の人との交流会を随時企画していきます。

山村留学の子どもたちが 市役所を訪問

矢部小学校と星野小学校に山村留学する子どもたちが4月5日(月)、市役所を訪問しました。

今年には福岡都市圏などから矢部小学校に4人、星野小学校に9人が仲間入り。山村留学センターで集団生活しながら小学校へ通います。「家族と離れるのは寂しいけれど、みんなと遊びながらここでしかできないことをやってみたい」と元気がいっぱいの子どもたち。「自然の中でしっかり勉強して、友達を作って」と市長から激励を受けました。



山村留学する子どもたち

「八女の里」のCDと楽譜をいただきました



八女市を唄った「八女の里」の楽譜が市長へ手渡されました

日本童謡協会会員で声楽家・作詞家の岩崎記代子さんから3月29日(月)、「八女の里」(作詞・舟木藤男さん、作曲と唄・岩崎記代子さん)を収録したCDと楽譜をいただきました。

岩崎さんは太宰府市在住。各地で童謡コンサートなどを開催し、みんなで歌う喜びを広める活動をしています。「八女の里」では、白壁の町並みや雛祭り、お茶など美しい八女の風景が唄われており、「ぜひ皆さんにこの歌を聴いていただきたい」と岩崎さん。CDは八女市立図書館にて準備ができれば借りのことができます。ぜひ鑑賞ください。

オーナー同士の交流を深める

3月21日(日)に、立花町辺春地区の辺春ふれあいセンターで「竹林オーナー交流会」が行われ、オーナーや辺春地域振興会議の関係者など約60人が参加しました。男性は竹林管理やタケノコの掘り方の講習を、女性は地域の加工グループからタケノコ料理の講習を受けました。

タケノコ掘りに挑戦した江川蒼介くん(太宰府市)は、「タケノコ掘りは初めてだったけど、お兄さんたちに手伝ってもらって3本掘りました。クワが重くて扱うのが難しかったけど、楽しかった。お母さんたちが作ったタケノコ料理もおいしかったです」と笑顔

立花町竹林オーナー交流会

で話しました。

また、講習後は、さまざまなタケノコ料理が振る舞われ、オーナー同士の交流も深まる一日となりました。



タケノコを掘る江川くん



受賞した高原さん(左)と野間口さん(右)

福岡県知事表彰を受賞しました

平成21年度幼年婦人消防クラブ等に係る福岡県知事表彰式が3月29日(日)に、ホテルリガロ福岡で行われました。八女市婦人防火クラブ会長の野間口幸江さんと黒木町少年消防クラブ指導員の高原光典さんが表彰を受けました。

野間口さんは、婦人防火クラブ設置以来火災予防に関する教養および知識の向上を図り、また住宅用火災警報器の共同購入や設置の推進などを行い、地域住民をはじめ行政関係者から高い評価を受けています。また、高原さんは、少年消防クラブの目的を良く理解し、18年間の長きにわたる卓越した指導力によって将来を担う青少年の健全育成に大きく貢献しました。

ゆめみらい号の車庫を彩る絵 黒木中美術部

黒木中学校の美術部の生徒が、制作に取り組んでいた八女市図書館黒木分館の移動図書館ゆめみらい号の車庫の壁の絵が完成しました。この絵を描いたのは、黒木中学校の美術部10人。1月末から部活動の時間や春休みなどを利用して完成させました。

この絵の図柄は、部員全員で話し合って決めたもので、テーマは「黒木の四季」。春夏秋冬それぞれの黒木の農産物や景色が描かれています。この絵の一番のポイントをたずねると草場那留美部長は「一つの風景に春夏秋冬が描かれているところですよ」と笑顔で答えてくれました。

近くに立ち寄った際は中学生の力作をご覧ください。



部員全員で手分けしながら色を塗っていきます

懐かしい思い出に浸る 松尾弁財天祭

4月5日(月)に立花町上辺春の松尾地区で、松尾弁財天祭が行われ、多くの来場者でにぎわいました。

これまで毎年、地元の子どもたちが風流を奉納し、五穀豊穡を祈願していましたが、子どもが減って風流奉納ができなくなりました。そこで今年は、地元の人たちが公民館周辺で、地元農産品の直売をはじめ、だご汁やおにぎり、タケノコとシシ肉をふんだんに使ったカレーなどを振る舞ったほか、「青い山脈」などの映画上映が行われました。

会場を訪れた人からは、「昔は家にテレビなどが無く、数少ない娯楽として映画を心待ちにしていた。昔ながらの祭の雰囲気がある、小さいころのことが思い出される」と、感慨深げに話していました。



「青い山脈」、「新撰組始末記」など懐かしい映画を上映

地域貢献活動部門賞を受賞

ふくおかを元気にする共助社会づくり活動表彰式が3月14日(日)に福岡市で開催され、八女市山内で活動している童男山・犬尾城址保存会が地域貢献部門賞を受賞しました。

同保存会は20年以上の長きにわたって、地域の財産である景観と史跡を永く後世に伝えるための活動を続けています。特に、地元小学生が継承する伝統行事「童男山ふすべ」への支援活動は、郷土愛の育成にもつながっており、住民自らによる地域づくり活動は、他団体のモデルとして評価さ

れました。

福岡県知事から表彰状を受け取った熊谷恒樹会長(山内)は、「今までの活動が評価され大変うれい。これからも地域のみんなと協力して活動を続けていきたい」と抱負を述べました。



賞状を手にする熊谷会長

「読書活動に役立てて」図書カードをいただきました



図書カードが中島教育長に手渡されました

J Aふくおか八女Aコープから3月25日(木)、八女市内の小学校21校に70万9千円分の図書カードをいただきました。同店では平成15年から「小学校へ本を贈ろう」運動として、店頭にシート投函ボックスを設置。投函されたレシート金額の0.1パーセントを図書カードにして管内すべての小学校に寄贈しています。Aコープ八女店の中島義彦店長は「皆様の協力により集まった寄付。小学校の読書活動にぜひ役立ててください」と中島教育長に手渡しました。

お待たせしました 交流センター完成!

4月2日(金)に八女市地域交流センター引渡式が行われました。この日は三田村市長のほか施工業者など関係者が、完成した施設などを見て回りました。最後に3階の和室で、施工業者を代表して有限会社樋口建設から三田村市長へカギが引き渡されました。関係者を前に市長は「長い間待ってもらった市民の皆さんも納得し、喜んでもらえるものができました。長い間ありがとうございました」と工事の苦労をねぎらいました。八女市地域交流センターは、4月15日から使用を始めています。



カギの入ったボックスが渡されました

完成した八女市地域交流センター

お釈迦様の誕生日を甘茶で祝う

お釈迦様の誕生日の4月8日(金)、亀甲の釈迦堂で花まつりが行われました。同区では200年以上前に釈迦堂が建立されたとの記録が残っており、感謝の気持ちを込めて毎年花まつりを開催。甘茶の葉は地域の老人クラブの皆さんにより大切に作られています。

参拝客は花で飾られた御堂の中に安置された釈迦像に甘茶を注ぎながら、無病息災などを願いました。世話役代表の斎藤義輝さんは「地域の行事としてこれからも大切に受け継いでいきたい」と話していました。



家族のため甘茶を持ち帰る参拝客のみなさん

小倉駅で大藤まつりをPR

JRR小倉駅観光PRと物産展

3月24日(水)～25日(木)の2日間、JRR小倉駅JAM広場で黒木大藤まつりの観光PRを兼ねた物産展が開催されました。

物産展では、6団体の出店により八女茶やイモまんじゅう、醤油、いちご、生キャラメルなど多彩な地元の特産品が販売されました。人気の品物は午前中に完売してしまうほどの盛況ぶり。お客さんの中には、大藤まつりのポスター前で写真を撮る人や、美味しかったと2日目も買いに来る人、故郷が八女市内だけでなく長く帰郷しておらず黒木と聞き懐かしくて足を止めたという人など、風吹く駅構内でしたが温かい交流がありました。



わずか2日間でしたがたくさんの人が買い求めていました

統合記念式で地域の安全誓う

八女警察署で4月2日(金)、黒木警察署との統合記念式が行われました。式の中で宮島泰署長は「住民やボランティアと協力して地域の安心安全に努める」と決意を述べました。三田村市長は「広域エリアで高齢化が進む中、黒木警部交番の十分な人員配置や、パトロール強化など聞いて安心している。新八女市の安心安全に力を合わせて全力で取り組んでいきたい」とあいさつしました。



パトロールに出発する白バイ

おいしいお茶と安全を祈願

本格的な茶摘みシーズンを前に4月15日(木)、第38回八女市新茶まつり祈願祭が八女中央大茶園の五社神でありました。同実行委員会長の齊藤元さんは「長きにわたり祈願できるのも、先人や関係者の皆さんのお陰。今年は九州茶品評会が筑後市で開催されるので、上位独占を目指したい」とあいさつ。出席した関係者とともに、八女茶生産の発展と作業の安全を祈願しました。



神事でおはらいをうける関係者

宝くじ助成事業で童男山古墳周辺に植栽

山内町内会が、宝くじの助成金(平成21年度コミュニティ助成事業)を活用して童男山古墳と虎山公園周辺を整備しクヌギやツツジなどを植栽しました。今回の取り組みで、風倒木や雑木に覆われた公園が見違えるようにきれいになり、花見や散歩など公園の利用者も増えています。今後は、地域住民ボランティアで植栽した樹木の管理や清掃活動を行い、美しい景観を守り続けていきます。



クヌギやツツジなどが植えられた虎山公園

藤の花をかわいがってください

黒木小学校5年生

黒木小学校5年生36人は4月14日(水)、校区でお世話になっている18の事業所等へ自分たちで育てた藤の花を届けました。この花は、黒木小の先輩たちから代々受け継いできたもので、「藤の花を育てることで地域の良さを知り、地域の人たちとのかかわりを深めよう」と毎年行っているものです。

黒木郵便局を訪れた子どもたちは「みんな大切に育てた藤の花です。見て喜んでもらえたらうれしいです」と堤浩由局長に手渡ししました。堤局長は「お客様も職員も、花を見て心が和らぎます」とお礼を述べて花を受け取りました。



大塚千愛さん(中)と川口久瑠実さん(左)から手渡しました

お知らせ



第8回八女であそぼう会

こま回しができなくても大丈夫！スタッフが教えます。

- 日時 5月9日(日) 9時30分～12時30分 ※雨天中止
- 会場 独楽工房 (吉田)
- 無料体験 こま回し、けん玉、竹馬、火おこし体験など
- 有料体験 こまの絵付け
- 問い合わせ 同所 ☎22・2955

健康ウォーク(八女歩こう会)

- 日時 5月9日(日) 8時30分 山内公園集合 ※雨天決行、申込不要
- コース 山内公園～北部スポーツ公園～八女中央大茶園～犬尾城址～山内公園(約8キロ)
- 参加費 1100円(保険料)
- 問い合わせ 八女歩こう会・鶴さん ☎090・3326・3133
- 吉田ウォーキング倶楽部
- 日時 5月23日(日) 8時30分出発

※小雨決行、強雨時は30日に延期

- 集合場所 広川町役場駐車場
- コース 広川町役場～グリーパーク公園(往復8キロ)
- 参加費 一般150円(保険料)
- 問い合わせ 世話人代表 久木原さん ☎23・5496

ふきのとう朗読会

- 「紅顔の君」「五体不満足」などを音訳ボランティア「ふきのとう」のメンバーが朗読します。
- 日時 5月22日(土) 14時開会
- 場所 地域福祉センター(上陽)
- 問い合わせ 八女市社会福祉協議会 ☎23・0294

丸山豊記念現代詩賞

- 贈呈式・記念講演
- 贈呈式と受賞作品「適切な世界の適切ならざる私」の作者・文月悠光さんの記念講演、詩の朗読などがあります。
- 日時 5月15日(土) 14時30分
- 場所 石橋文化会館2階小ホール
- 問い合わせ 久留米文化振興会内実行委員会 ☎0942・318710

第7回西短文化講演会

- 日時 5月15日(土) 11時
- 会場 西日本短期大学附属高等学校記念館
- 内容 樋口透氏(東京理科大学学部長) 学部長専任講師、平成2年西短卒

業による講演「未知なる世界への挑戦」

- 問い合わせ 同校 ☎23・5662



母と子のキャンペーン

福岡県母子寡婦福祉連合会では、ひとり親家庭の母と子のリフレッシュ事業として親子キャンプを実施します。募集30組

- 期日 6月26日(土)～27日(日)
- 会場 夜須高原青少年自然の家
- 参加対象 原則、5歳以上中学生以下の子どもを持つひとり親家庭の母と子
- 参加費 大人3千円、子ども2千円
- 申込締切 5月28日(金)
- 申込 問い合わせ 同会 ☎092・584・3922

ひまわり学童夏休み指導員、児童・生徒

- しょうがいを持つ小中高生対象の学童保育所指導員と利用児童・生徒を募集します。
- 指導員は履歴書・申請書提出後面接を、児童・生徒は申請書提出後面接があります。
- 指導員(定員5～10人程度)
- 資格 19歳～50歳、高卒以上でしよがい者保育に熱意のある人
- 勤務時間 13時～18時30分
- ※数日のみ8時30分出勤あり

つどいの広場 ちゃちゃっこ

- 会場・問い合わせ=共生の森 ☎30・2566
- いっしょにあそぼ!(外あそび!)
- 日時=5/8(土) 10時30分～
- ママとふあふあほっぺ(講師:田中もとこさん)
- 日時=5/11(火) 10時30分～ ※要申込・25組
- 高田先生とおしゃべり会!
- 日時=5/14(金) 10時30分～ ※託児要申込
- 楽しく食育「石窯でピザを焼こう!」
- 日時=5/18(火) 10時30分～
- ※要申込、参加費200円
- にこにこパースディー♪
- 日時=5/19(水) 10時30分～ ※5月生まれ

子育て支援センター ほほえみ

- 問い合わせ=ほほえみ(岡山保育所内) ☎22・4726
- あそびの広場(会場=ほほえみ)
- 日時=5/1(土)、6(木)、8(土)、10(月)、13(木)、15(土)、17(月)、27(木) 午前中のみ29(土) / (月～金) 9時30分～15時30分 (土) 9時30分～13時
- 移動サロン
- 日時・会場=▽5/7(金)東公民館▽14(金)児童センター▽19(水)上陽公民館▽21(金)八女文化会館▽24(月)西公民館▽28

論そよかせ星野※いずれも10時～12時

- ほほえみサロン(会場=ほほえみ)
- ・赤ちゃん広場(生後4か月～15か月)
- 5/12(水)、26(水) 9時30分～12時
- ・ほほえみ広場(生後16か月～就学前)
- 5/18(火)、25(火) 9時30分～12時
- パパママ広場(会場=ほほえみ)
- 日時=5/22(土) 10時～12時
- プレママ広場 ※今からママになる人対象
- 日時・会場=5/11(火)忠見保育園、5/31(月)八女中央保育園、※いずれも10時～12時
- 健康講座(会場=ほほえみ)
- 日時=5/20(木) 10時30分～11時30分
- 子育てママのリフレッシュタイム(会場=ほほえみ)
- 日時=5/13(木) 10時～12時 ※先着20人、材料費500円程度、託児あり

黒木町チャイルドルーム ピコロ

- 会場・問い合わせ=ふじの里 ☎42・3301
- エンジェルルーム「こいのぼりを作ろう!」
- 日時=5/12(水) 10時30分～12時
- みんなであそぼう「びよんびよんシャボン玉」
- 日時=5/23(日) 10時30分～12時
- 子育て座談会
- 「高田先生のハートフルしゃべり場」
- 日時=5/25(火) 10時30分～12時

立花町子育て支援センターきらきら

- 会場・問い合わせ=きらきら ☎24・9090
- おしゃべり会(会場=きらきら)
- 日時=5/10(月)、24(月) 11時～
- 元気にあそぼう(会場=北山保育所)
- 日時=5/12(水)、19(水)、26(水) 10時～
- パパ・ママあそぼう!(会場=きらきら)
- 日時=5/15(土) 9時～13時
- おはなし会(会場=きらきら)
- 日時=5/7(金) 10時30分～
- リズムにのって(会場=きらきら)
- 日時=5/11(火) 10時30分～
- 英語であそぼう(会場=きらきら)
- 日時=5/17(月) 10時30分～
- 楽しく子育て「歯の健康」(会場=きらきら)
- 日時=5/21(金) 10時30分～
- 育児講座(会場=かがやき ※託児あり・要申込)
- 日時=5/25(火) 13時30分～15時
- 内容=こんなときどうする?子どもの病気
- ハッピーバースデー(会場=きらきら)
- 日時=5/28(金) 10時30分～ ※身体測定の日
- 移動サロン
- 日時・会場=▽5/6(木)立花町迎春コミュニティセンター▽13(木)黒木公民館▽20(木)立花町かがやき▽27(木)矢部村集落センター ※いずれも10時～13時

福祉課からのお知らせ

■コミュニケーション支援事業

聴覚・音声・言語機能のしょうがいのため、意思の疎通を図ることに支障がある人たちに、手話通訳者や要約筆記者を派遣することにより、意思の疎通を円滑にすることを目的とする事業です。利用を希望する人は、身体障害者手帳および印鑑をお持ちになり、申請にお越しく下さい。

※派遣登録いただく手話通訳者を募集しています。

- ・問い合わせ・申請＝福祉課しょうがい者福祉係 ☎23・1335

■相談支援事業

障害者等相談支援センター「リーベル」を清水町商店街駐車場入口の東側に開設しています。しょうがい者やその家族の相談に応じ、必要な情報の提供および助言を行うとともに、しょうがい者の権利擁護のための必要な援助を行っています。

- ・問い合わせ＝《精神しょうがい者》 ☎22・2630

《身体・知的しょうがい者・児童》 ☎22・2610

■地域活動支援センター

精神保健福祉士等の専門職員が、医療、福祉及び地域の社会基盤との連携強化の調整等を行う地域活動支援センターⅠ型を「リーベル2階」及び筑水会病院内「ゆうゆう」に、機能訓練・社会適応訓練などのサービスを行う地域活動支援センターⅡ型を「陽だまりの里」に、通所による作業指導、生活指導を行う地域活動支援センターⅢ型を「茶の実作業所」に開設しています。

- ・地域活動支援センターⅠ型 ☎22・2630 ※リーベル2階
- ・地域活動支援センターⅡ型 ☎30・3055 ※陽だまりの里
- ・地域活動支援センターⅢ型 ☎42・1915 ※茶の実作業所

■ふらっち広場

地域活動支援センターⅡ型「ほほえみ」の事業の一部を大正町商店街の「ふらっち広場」に開設しています。八女市にお住まいのしょうがい者や地域の人が交流できる場としてご利用ください。「ふらっち広場」にはしょうがい者の皆さんが作った作品を展示しています。また、八女作業所や筑後養護学校の人が作製した物品を販売しています。気軽にお立ち寄りください。

- ・開館時間＝毎週（火・木・土・日）10時～16時

・問い合わせ＝ふらっち広場 ☎24・3022

■ご存じですか？

所得が低い人（市民税非課税世帯）は次の福祉サービスの利用者負担が無料になります。ただし、身体、知的、精神のしょうがいを有する人に限ります。※手続きは不要です。

- ・障害福祉サービス／補装具／日中一時支援事業／移動支援事業／日常生活用具給付事業
- ・問い合わせ＝福祉課しょうがい者福祉係 ☎23・1335

- ・時給 750円
- ・児童・生徒（要登録）
- ・対象 市内居住で身体障害者手帳・療育手帳を持つ18歳未満の人、同等の障害が認められる人
- ・利用時間 13時15分～17時45分
- ・利用料金 1回500円
- ・締切 5月20日（休）※連絡時間は13時～18時30分
- ・申し込み・問い合わせ 23・2246
- ・児童（☎23・2246）

肢体不自由児のキャンプ

参加無料。希望者は5月6日（木）～20日（木）までに福祉課へ申し込んでください。

- ・対象 小学3年から中学3年のキャンプ（定員50人）

- ・までの肢体不自由児（在宅）
- ・期間 8月10日（火）～12日（木）
- ・会場 玄海の家（宗像市神湊）
- ・山のキャンプ（定員30人）
- ・対象 海のキャンプと同じ
- ・期間 8月25日（水）～27日（金）
- ・会場 やすらぎ荘（筑前町）
- ・進行性筋萎縮症児のキャンプ（定員30）
- ・対象 進行性筋萎縮症児と保護者
- ・期間 7月24日（土）～25日（日）
- ・場所 千石の郷（福岡市早良区）
- ・※海・山のキャンプは高校でも状況によって参加できる場合があります。
- ・申し込み 福祉課 ☎23・1335
- ・問い合わせ 県肢体不自由児協会 ☎092・643・3264

- ・まちの「こと」を考えよう学級
- ・政治学級。身近な問題や現代的課題について学習します。
- ・日程 6月～平成23年3月までの各月1回 ※受講無料
- ・学習内容 市議会傍聴、環境、高齢化社会、子どもの問題、市議との懇談会など
- ・申込締切 5月20日（木）
- ・申し込み・問い合わせ 男女共同参画生涯学習課 ☎23・1318

三河少年剣道クラブ

- ・剣道を通して心身を鍛えましょう。見学・体験入部随時受け付けています。お気軽にごつぞ。
- ・対象 市内小学1年～6年生

- ・練習日 火（18時～20時）木（18時～19時）土（9時～12時）
- ・会場 三河小学校体育館
- ・部費 1月千円（保険あり）
- ・問い合わせ 山口さん ☎090・7468・1597

和紙の帯作り

こんにやく糊を和紙にもみ込んで、帯を作ります

- ・日時 5月14日（金）、15日（土）、16日（日）の3日間（午前の部）9時30分～11時30分（午後の部）14時～16時 ※3日とも午前・午後の部各5人
- ・会場 八女伝統工芸館
- ・参加費 半巾帯3千円、名古屋帯4500円
- ・申し込み 同館 ☎22・3131

募集

施工入札参加希望者

《保存修理事業》

- ・八女福島重要伝統的建造物群保存地区
- ・八女黒木重要伝統的建造物群保存地区



伝

伝統的建造物群保存修理事業・街なみ環境整備事業の補助事業による建築物化財修理および修景の施工希望者を募集します（施工は建物所有者等）。

- ・修理・修景工事の要件等に関する説明会の後、希望者は平成22～24年度事業の入札参加希望者として登録します。
- ・応募資格 建設業の許可を得て八女市内に営業所（本店または支店等）を設け、伝統工法による建築物の修理・修景の施工ができる者
- ・応募方法・問い合わせ 都市計画課 並み景観係 ☎23・2577 までお電話ください。
- ・応募締め切り 5月14日（金）17時



教室・講座

パソコン基礎講座

パソコンの基礎講座を開催します。各コース先着18人で、5月6日(木)から受付を開始します。

- ・内容(日程)▽パソコン入門(6月10日、17日、24日、7月1日※全木曜日10時～12時)
- ▽ワード2007(6月10日、17日、24日、7月1日、8日※全木曜日13時30分～15時30分)
- ▽エクセル2007(6月9日、16日、23日、30日、7月7日※全木曜日19時～21時)
- ・講習料▽各講座千円、ほかにテキスト代が必要です。
- ・会場▽八女市地域交流センター(旧八女中央公民館)
- ・申し込み▽男女共同参画・生涯学習課(☎23・1318)

母子家庭等対象パソコン講座

母子家庭の母または寡婦を対象としたパソコン中級講座。受講料は無料です(テキスト代は自己負担)。託児あり。

- ・期日▽6月1日～18日の平日(火・水・木・金) 夜間12日間
- ・締め切り▽5月17日(月)
- ・場所・申込み▽春日クローバープラザ内母子家庭等就業・自立支援センター(☎092・584・

3931) ※申込書は子育て支援課に準備しています。(☎23・1351)

ホームヘルパー養成講座(2級)

対象▽ホームヘルプサービスに従事している人、これから始めようとする人

- ・期間・定員▽①平日コース8月～12月(20人) ②日曜・一部土曜コース7月～来年1月(20人)
- ・申込み締切▽①6月24日(木) ②6月16日(木)
- ・会場▽八女伝統工芸館(講義、久留米赤十字会館(演習))
- ・受講料▽約3万円程度
- ・申し込み・問い合わせ▽健康課(☎23・1308) ※総合支所及び各支所でも受け付けます。

UGE初心者ギター教室

日時▽5月～4月までの1年間、毎週火曜19時30分～21時 ※開講式5月11日(火)八女文化会館

- ・練習会場▽八女文化会館
- ・受講料▽無料※必要テキスト代
- ・申し込み▽文化課(☎23・1982)
- ・問い合わせ▽UGE八女ギター室内合奏団・野田さん(☎22・4033)

川崎病院ミニ健康教室

参加費は無料、定員40人、事前にお申し込みください。

納税課

軽自動車税の減額免除について

軽 自動車税には1台に限り減額免除の制度があります。次の事項に該当する人は、軽自動車納税通知書が届いてから5月25日(火)までに申請してください。ただし、すでに普通自動車税(県税)の減額免除を受けている人は除きます。また、障害の級により対象とならないこともあります。なお、昨年までに申請をしてその内容に変更のない人は、継続して減額免除になりますが、所有者・車体等に変更があった場合は新たに申請が必要になります。

- ・対象者=①身体や精神に障害があつて歩行が困難な人 ②「①」の人と同一世帯の人 ③身体障害者(身体障害者などのみで構成する世帯に限る)を常に介護する人
- ・対象となる車=▽身体障害者の所有する車(同一世帯者の所有する車も含む) ▽知的障害者・精神障害者は、本人または同一世帯者の所有する車
- ・申請の時に持参する物=《①の場合》▽身体障害者手帳・戦傷病者手帳・保健福祉手帳・療育手帳のいずれか ▽印鑑 ▽軽自動車税の納税通知書 ▽運転免許証 ▽車検証 《②③の場合》証明書などが必要ですのでお問い合わせください。
- ・問い合わせ=本庁納税課 (☎23・1114) ▽黒木総合支所市民生活課 (☎42・1463) ▽立花支所市民生活福祉課 (☎23・4932) ▽上陽支所市民生活福祉課 (☎54・2218) ▽矢部支所市民生活福祉課 (☎47・3111) ▽星野支所市民生活福祉課 (☎52・3113)

日時▽5月29日(土)14時～15時

場所▽川崎病院第1会議室

内容▽松野悟麻酔科部長による講演「痛みの治療」

申し込み▽同病院樋口さん、石内さん(☎23・3005)

子どもの本の勉強会

「おはなしばさらかたい」では読み聞かせに向く絵本の選び方、ブックトーク、ストーリーテリングのやり方、読書相談などを行っています。左記日程の都合のいい時においでください。

日時▽月～木曜日17時～21時

場所▽代表井手口さん自宅(納楚)

問い合わせ▽井手口さん(☎090・8766・6223)

語りの会

子どもたちに本の楽しさを伝える語り(ストーリーテリング)をしています。見学においでください。

日時▽毎月第1月曜日、9時15分～11時30分

場所▽共生の森

問い合わせ▽森さん(☎090・7478・4438)

レクリエーションを楽しもう

だれもが気楽に楽しめるスポーツ教室を開催します。室内

用運動靴を持参してください。

種目▽ファミリーバトントントン、フットボール、ドッチビーなど

日時▽5月8日(土)、22日(土)20時～

会場・問い合わせ▽総合体育館(☎24・1230)



相談

自殺予防ホットライン

福岡県では「ふくおか自殺予防ホットライン」の運営を社会福祉法人北九州いのちの電話に委託し、24時間無休で対応しています。

●北九州いのちの電話

無料法律相談

- 5月6日(木)・20日(木) 13時～16時
／法務局八女支局
※要予約 ☎23・2603
- 5月14日(金) 13時30分～16時
／社会福祉会館
※要予約 ☎23・0294
- 5月21日(金) 13時30分～16時
／地域交流センターふじの里(黒木)
※要予約 ☎42・2131
- 5月28日(金) 13時30分～16時
／地域福祉センター(上陽)
※要予約 ☎54・3003
- 5月21日(金) 10時～12時
／商工会議所※要予約 ☎22・5161

その他の相談

多重債務相談

- 毎週火曜 13時30分～16時
／社会福祉会館
※要予約 ☎0942・30・0144

消費生活相談(来訪または電話相談)

- 毎週月・水・金曜 8時30分～16時30分
／消費生活相談室 ☎23・1183

男女共同参画推進支援委員相談

- 5月13日(木) 13時30分～16時30分
／男女共同参画・生涯学習課
※要予約 ☎23・1314

女性相談

- 5月20日(木) 9時～12時/働く婦人の家
なんでも人権相談

- 5月7日(金) 13時～16時
／社会福祉会館
- 5月12日(水) 13時～16時
／立花市民センター(立花)
- 5月14日(金) 13時～16時
／地域交流センターふじの里(黒木)

行政相談

- 5月6日(木) 13時～16時/社会福祉会館
- 5月10日(月) 13時30分～16時
／地域福祉センター(上陽)
- 5月19日(水) 9時30分～12時
／地域交流センターふじの里(黒木)
- 5月17日(月) 9時～12時
／立花市民センター(立花)

司法書士相談

- 5月14日(金) 13時30分～16時
／地域交流センターふじの里(黒木)
- 5月21日(金) 13時30分～16時
／社会福祉会館

心配ごと相談

- 5月19日(水) 13時30分～16時
／社会福祉会館
- 5月12日(水)・26日(水) 13時30分～16時
／地域福祉センター(上陽)

- 5月19日(水) 9時30分～12時
／地域交流センターふじの里(黒木)
- 5月26日(水) 9時30分～12時
／総合保健福祉センターかがやき(立花)

税務相談

- 5月10日(月) 10時～15時/商工会議所

社会保険相談

- 5月19日(水) 10時～15時/商工会議所

不動産相談

- 5月26日(水) 13時～15時/商工会議所

日本政策金融公庫相談

- 5月7日(金) 13時～15時/商工会議所

補聴器の修理と相談

- 5月18日(火) 13時～14時30分/市役所

- 5月13日(木) 9時～10時
／地域福祉センター(上陽)

- 5月14日(金)・18日(火) 10時～12時
／地域交流センターふじの里(黒木)

- 5月18日(火) 10時～12時
／総合保健福祉センターかがやき(立花)

- 5月27日(木) 10時～12時/星野支所

家庭児童相談室

- 平日 9時30分～16時
／市役所内(☎23・1448)

精神保健福祉相談

- 毎週月曜 14時30分～16時
／南筑後保健福祉環境事務所分庁舎(八女総合庁舎)
(要予約 ☎0944・72・2176)

エイズ検査とエイズ電話相談

- 毎週月曜 14時～15時
／南筑後保健福祉環境事務所分庁舎(八女総合庁舎)
(☎0944・72・2812)

電話相談

教育相談

- 平日 9時～17時/八女市教育研究所
(☎0120・784・110)

教育相談

- 無休・24時間受付/南筑後教育事務所
(☎0942・52・4949)

交通事故相談

- 平日 9時30分～12時・13時～16時40分
／日本損害保険協会
(☎092・713・7318)

犯罪被害者相談電話

- 平日 9時～18時/県警察本部
(☎092・632・7830)

難病ホットライン

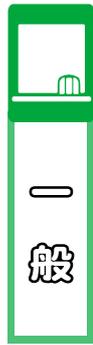
- 平日 8時30分～17時15分
／南筑後保健福祉環境事務所分庁舎
(☎0944・72・2610)

多重債務相談

- 平日 9時～12時・13時～17時
／福岡財務支局(☎092・411・7291)

・(☎093・671・4343)
※毎月10日の8時～翌朝8時の間、フリーダイヤルでも受け付けます。0120・738・556
養育費等の無料法律相談
福岡県母子家庭等就業・自立支援センターでは、母子家庭の養育費や金銭の貸借問題などの無料法律相談を実施しています。
相談日時 5月12日(水)26日(水) 18時30分～20時30分
場所 2クロバープラザ(春日市)

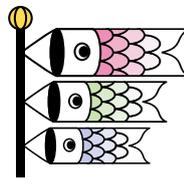
・申し込み相談日前日までに予約(☎092・584・3922)
土壌汚染に関する規制が強化されました
土壌汚染対策法が改正され、4月1日から施行されました。
・主な改正内容 3km以上の土地の形質を変更しようとする者は、30日前までに県に届出



・問い合わせ 福岡県環境部環境保全課(☎092・643・3361) ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>
屋外広告物の撤去について
屋外の広告物は福岡県屋外広告物条例で規制されています。次の物件には広告物を掲示することができません。
・禁止物件 橋、街路樹、公衆電話ボックス、公衆便所、郵便ポスト、信号機、道路標識、歩

道柵、街路灯、電柱など
右記の禁止物件に掲示されている「はり紙、はり札、立て看板」の違反広告物設置者は、自主的に撤去をお願いします。
・問い合わせ 都市計画課町並み景観係(☎23・2577)
小・中学校の体育施設をご利用ください
市民のスポーツ活動に小・中学校体育館や運動場を開放しています。利用したい人は必ず「利

用者の会」に参加してください。
《6月利用者の会》
・期日 5月22日(土)
・時間 学校名 13時30分～(福島小、長峰小、福島中)、14時15分～(八幡小、岡山小、西中)、15時～(上妻小、三河小、南中)、15時45分～(忠見小、川崎小、北川内小、見崎中、上陽中)
・会場 問い合わせ 総合体育館(☎24・1230)
※利用者の会に参加するためには前もって団体登録が必要です



おたんじょうび おめでとう

満1歳のお子様の写真を募集しています。名前・生年月日・住所・簡単なコメント(30字以内)を添えて、誕生日前月の7日までに直接お持ちいただくか、郵送でお申し込みください。応募多数の場合は先着順となります。写真はお返ししていません。
●申し込み=市長公室秘書広報係(☎23・1110)



中村 銀靖ちゃん
H21年5月4日生(酒井田)



熊本 晴之進ちゃん
H21年5月4日生(吉田)



青木 結泉ちゃん
H21年5月4日生(井延)

我が家のアイドルゆいちゃん、お兄ちゃんとの2人元気に大きくなってね♡



井手 佑樹ちゃん
H21年5月13日生(吉田)



田辺 理桜ちゃん
H21年5月12日生(蒲原)



上村 一颯ちゃん
H21年5月11日生(湯辺田)

パパ顔負けの真緑♡最高！一颯くん大好きだよ♡



上村 綺萌ちゃん
H21年5月11日生(湯辺田)



元田 楓鈴ちゃん
H21年5月4日生(国武)

わがやの♡アイドル♡楓鈴ちゃん♡これからますますと健康に育ってね！



入江 陽菜ちゃん
H21年5月26日生(豊福)



高山 晴近ちゃん
H21年5月24日生(津江)



井上 翔瑛ちゃん
H21年5月18日生(北川内)

いつも笑顔でやんちゃな翔くん。いっぱい遊んで大きくなってね♡



平嶋 乙葉ちゃん
H21年5月15日生(大籠)



秋山 真輪ちゃん
H21年5月15日生(井延)

いつも元気がいっぱい真輪。元気に育ってね♡



古賀 美羽ちゃん
H21年5月31日生(本町)



今村 悠佑ちゃん
H21年5月31日生(吉田)



樺島 理響ちゃん
H21年5月28日生(南馬場)

ごはんとたくさん食べて、兄ちゃん、姉ちゃんに負けるな！



篠原 亜依ちゃん
H21年5月27日生(吉田)



下川 絢末ちゃん
H21年5月26日生(室岡)

いつも元気で遊びまわるアちゃん。家族みんなあなたにめろめろです♡

市民とともに～伝統と躍動の未来都市～
この広報誌は環境にやさしい再生紙、大豆油墨を使用しています

▼人口と世帯(4月1日現在)		▼3月の異動	
人口	70,671 (-297)	出生	44人
男	33,256 (-160)	死亡	74人
女	37,415 (-137)	転入	246人
世帯数	23,798 (+7)	転出	513人
※()内は前月比			
3月の 火災・救急の 状況	火災出火件数	2件 (11件)	
	救急出動件数	287件 (811件)	
	救急搬送人数	279人 (776人)	
	※()内は1月からの累計		
3月の 交通事故の 状況	発生件数	50件 (133件)	
	傷者	64人 (164人)	
	死者	2人 (2人)	
※()内は1月からの累計			
5月に 納めるもの	●軽自動車税(全期)		
	●市営住宅家賃(5月分)		
	●保育料(5月分)		
納期限・口座振替日は5月31日(月)			
※納税は安全便利な口座振替をご利用ください。 ※納期限内の納付にご協力ください。延滞金がかかります。			

+ 5月の在宅医当番表

※変更になっていることがありますので電話で確認してください。

2日(日) ・戸次循環器科内科(馬場)22・3100 ・みやざき内科(立花町)37・0008 ・たなか歯科クリニック(筑後市)0942・48・4184	・後藤内科医院(上陽町)54・2221 ・立岡歯科医院(筑後市)0942・53・3070
3日(祝) ・なかしま胃腸科(蒲原)25・6200 ・クリニックくろぎ(黒木町)42・0887 ・野田歯科医院(筑後市)0942・53・4187 ・松山歯科医院(納楚)24・1234	16日(日) ・山田医院(東唐土町)23・4853 ・たちばな森の里クリニック(立花町)35・1000 ・山下いさみ歯科医院(筑後市)0942・53・7864 ・吉田眼科(筑後市)0942・54・1888
4日(祝) ・八媛病院(本)22・4176 ・しばた医院(上陽町)33・7373 ・下川歯科医院(筑後市)0942・53・7720 ・柴田歯科医院(納楚)24・3400 ・大淵耳鼻咽喉科(大島)23・2811	23日(日) ・井上クリニック(新町)30・2020 ・矢部村診療所(矢部村)47・2700 ・吉泉歯科医院(黒木町)42・3941
5日(祝) ・下津浦医院(津江)22・2564 ・今村循環器科・内科(黒木町)33・2115 ・まちの歯科医院(筑後市)0942・42・1515 ・吉田歯科医院(津江)23・5000	30日(日) ・江上内科(五丁野)24・0113 ・林医院(立花町)23・5557 ・姫野歯科医院(広川町)32・0155
9日(日) ・富田クリニック(蒲原)24・4810	救急指定病院 ・公立八女総合病院(高塚)23・4131 ・柳病院(吉田)23・2176 ・川崎病院(納楚)23・3005 ・馬場病院(広川町)32・3511

編集後記

▼新茶祈願祭が終わり、八女はお茶のシーズン突入です。黒木は笠原生まれの私。当然そんなに広くはなくとも茶畑があるわけで、順調にいけば今年もGWからお茶摘みになりそうです。お茶摘みは、結構大変ですけど、この時期の山々の風景や空気感がなんとも言えず好きです。すがすがしい気分になります。さあ今年もがんばるぞっと。(M・M)

▼今月から始まった吉村誠さんの「八女寸語」。当時の福島の賑わいぶりが目に浮かぶようでした。田舎の少年の目にはどれほどまぶしかったことでしょうか。そういえば私も、小さいころ母に連れられて福島へ行くのが楽しみでした。ともに手を取り合いながら歴史を歩んできた八女。平野部と山間部、両方の良さ人々のパワーが融合した新八女市となりそうですように。(K・S)

お買い物やパーティーは八女市でどうぞ！